



プログラム 1-3 「ジェンダー平等と性の多様性」

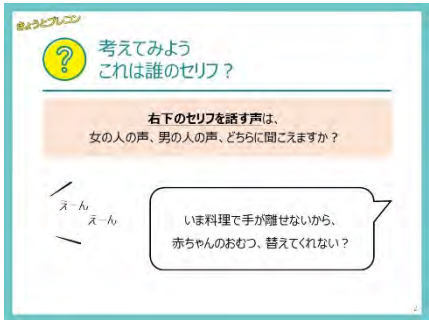
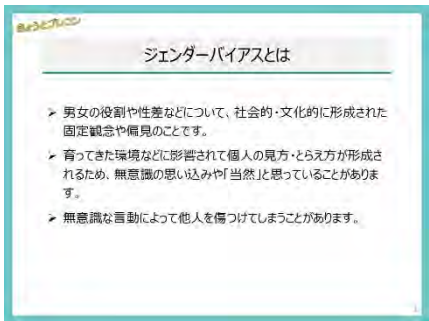

教員用プログラム

1. 各スライドの指導上の留意点

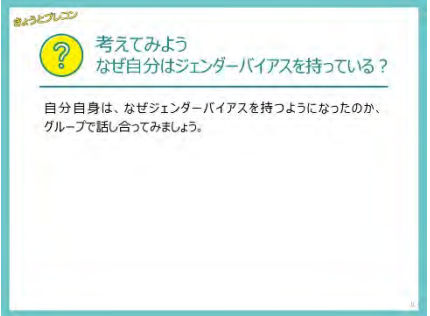

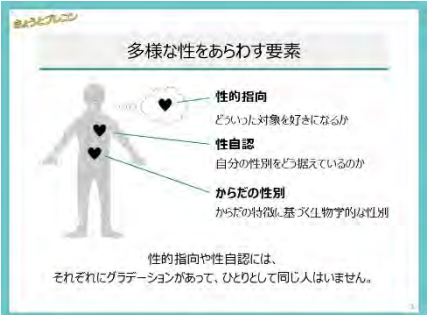
学習目標

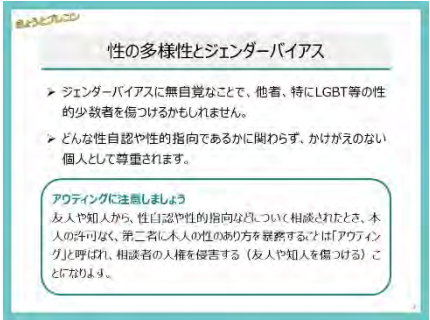
身近にあるジェンダーバイアスを理解し、自他の生き方を尊重できる態度を養おう



段階	授業の展開	指導上の留意点
導入	<p>1. 授業のねらいや全体像を知る</p> <p>・表紙</p>  <p>・スライド1</p> 	<p>○本時では資料やワークを活用して身近に潜むジェンダーバイアスについて考えます。</p> <p>「女らしさ、男らしさ」にまつわる身の周りの状況に着目した後、性の多様性に目を向けていき、一人として同じ人はいないことを確認します。</p> <p>○性の多様性について扱う際は、生徒の中にLGBT等(※)の性的少数者の当事者がいることを念頭に置き、発問等に留意しましょう。</p> <p>【発問時の留意の例】</p> <p>・マジョリティが「普通」であるという趣旨の表現を避ける</p> <p>・「レズ」や「ホモ」のような略称や、「オカマ」などの俗称を用いない</p> <p>※LGBT等…Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシュアル)、Transgender(トランスジェンダー)の頭文字を組み合わせた言葉です。LGBT等は、人口に占める割合が少ないことから性的少数者(セクシュアルマイノリティ)といわれることもあります。</p> <p>参考:京都府『性の多様性と人権』(京都府 府民環境部人権啓発推進室、2021年)</p>
展開	<p>2. 性別に基づく思い込みについて考える</p>	<p>○まずスライドにあるセリフを読んで、どんな性別の人の発言かを考えます。</p>


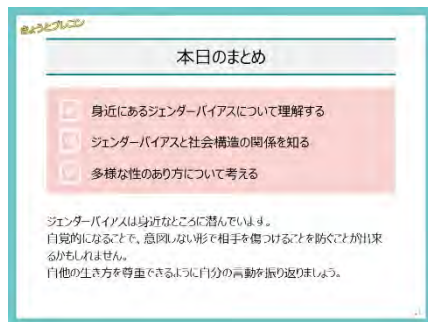
<p>・スライド2</p>  <p>・スライド3</p> 	<p>【考えてみよう】これは誰のセリフ？</p> <p>右下のセリフを話す声は、女の人の声、男の人の声、どちらに聞こえますか？</p> <p>「いほ料理で手が離せないから、赤ちゃんのおむつ、替えてくれない？」</p> <p>○家事や育児をこなす「母親(＝女性)」の声であると考え人が多いでしょう。「家事や育児をするのは母親」というイメージはジェンダーのステレオタイプ(思い込み)による先入観(ジェンダーバイアス)ではないかと気づくためのワークです。</p> <p>○社会や文化によって形成されたジェンダーのイメージや偏見のことを「ジェンダーバイアス」と言います。ワークを通して、ジェンダーバイアスは決して他人事ではなく、自分も持ちうることを確認します。</p> <p>○ジェンダーバイアスは社会や文化によって作られているため、誰もが持ちえます。一人ひとりがジェンダーバイアスを自覚することで、無意識に他者を傷つけてしまうことを防ぎます。</p>
<p>3. 身近にあるジェンダーバイアスを見つける</p> <p>・スライド4</p> 	<p>○普段何気なく話したり、聞いたりしている言葉や内容にもジェンダーバイアスが潜んでいます。</p> <p>ここでは、よく聞かれる発言をもとに、身近なジェンダーバイアスについて考えます。</p> <p>○身の周りの発言からジェンダーバイアスを考えるために、発言に含まれる性別の部分を入れ替えてみます。</p> <p>「おふくろの味」なら「おやじの味」、「男子は～」であれば「女子は～」と男女を入れ替えた表現にしてみます。</p>

<p>・スライド5</p> 	<p>すると、「変だな」と感じる言葉があるかもしれません。その「変だな」という感じ方の中に、あなたのジェンダーバイアスがあらわれているかもしれません。</p> <p>○上記のことを踏まえて、生徒たち自身で身の周りのジェンダーバイアスに関する事例を考えるワークに取り組みます。</p> <p>【考えてみよう】ことばを入れ替えたら、違和感？ 男女を入れ替えた「何か違う」と感じる表現を、グループで話し合ってみよう。</p> <p>○個人で考えた後、グループで意見を出し合ってみよう。また、文章から受けた印象や、男女を逆転させてみた時に感じたことをグループで出し合うのも良いでしょう。</p> <p>○また、生徒の状況に合わせて、以下の例を参考に3つ程度を選定して紹介するなど活用してください。</p> <p>【想定される回答例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性は青、女性は赤(トイレの表示など) ・男の子は車のおもちゃ、女の子は人形遊びが好き ・男は泣くな→女は泣くな ・女性は地元の大学に進学 ・美容男子 ・女子アナ→男子アナ ・男性保育士 ・女子力→男子力
<p>4.ジェンダーバイアスが作られる構造を理解する</p>	<p>○ここまでの学習で、違和感はジェンダーバイアスを反映しているのではないかと考えてきました。</p> <p>ここからは、ジェンダーバイアスが生じるしくみ(社会の構造)に目を向け、考えます。</p>

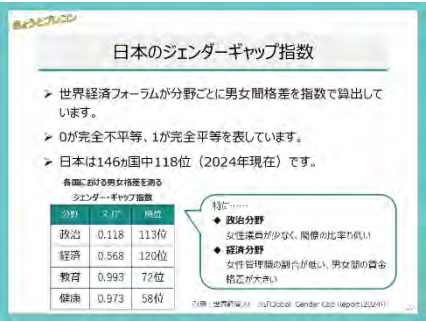
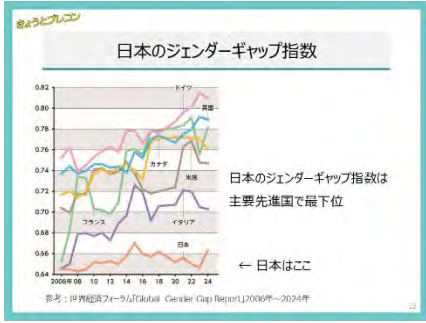
<p>・スライド6</p>  <p>・スライド7</p> 	<p>【考えてみよう】なぜ自分はジェンダーバイアスを持っている？</p> <p>自分自身は、なぜジェンダーバイアスを持つようになったのか、グループで話し合ってみましょう。</p> <p>○上記のワークを行うと、周囲の人に言われた経験や、他の人に話す様子を見聞きした経験などが出てくると思えます。</p> <p>それを受けて解説を行います。</p> <p>○ジェンダーバイアスは生まれつき個人の内側にあるものではなく、社会や文化によって形作られます。周囲の人の発言や、SNS、テレビ、マンガなどのメディア、文化などが要因となっていることもあるということを確認します。</p> <p>その構造に気づくことで、日ごろ触れている情報や周囲の人の発言やふるまいなどを、新たな視点で見直すことができるでしょう。</p>
<p>5. 性を多面的にとらえる</p> <p>・スライド8</p> 	<p>○ここまでジェンダーについて考えてきましたが、そもそも性の枠組みはからだの性別だけではありません。ここから性の多様性の捉え方について学習していきます。</p> <p>○性はいくつもの側面からとらえることができます。「性的指向」、「性自認」、「からだの性別」など、いくつもの要素が絡み合っています。その組み合わせは人の数だけあっても表現できます。</p> <p>・「性的指向」…どのような性の人が恋愛対象とするのか、ということです。「好きになる性」のことです。</p>

		<p>・「性自認」…自分の性をどのように認識しているのか、ということです。「こころの性」とも言われます。</p> <p>・「からだの性別」…出生時に割り当てられた、戸籍上の性のことです。</p> <p>○「性」は人間を構成する重要なアイデンティティ(自分らしさ)の一つです。</p> <p>このようにいくつもの側面から捉えることができる多様な性のあり方によって、不当な差別があってはならず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として、お互いに人権と個性を尊重し合うことが重要です。</p>
	<p>6. 性の多様性とジェンダーバイアス ・スライド9</p> 	<p>○「女／男は～～をするのが普通(一般的)だ」という考え方により、苦しんだり傷ついたりしている人がいます。また、そのようなジェンダーのステレオタイプ(思い込み)をもとにした言動は、女性や男性に限らず、あらゆる性の人が苦しむ要因となります。</p> <p>一人ひとりがジェンダーバイアスを自覚すると、無意識に他者を傷つけてしまうことを防げます。</p> <p>○生徒の中には、実際に LGBT 等の当事者がいる可能性もあります。そのことを念頭に置き、当事者を探る形にならないように留意しましょう。</p> <p>【留意の例】</p> <p>「この中で LGBT 等の人はいるか」「〇〇さんはそうらしい」などの会話が出た場合には、アウティング(※)は人権侵害であるということを伝えましょう。</p> <p>※アウティング</p> <p>本人の承諾を得ずにその人の性自認、性的指向を第三者に暴露してしまうことです。悪気はなく聞いた話をぼろりと人にもらしてしまった場合でも、自分のセクシュアリティを他人に知られたくない人にとって、アウティングは重</p>

		<p>大な人権侵害であり、友人や知人を傷つける行為です。本人の了解なしに決して他人に話さないようにしましょう。</p> <p>参考：京都府『性の多様性と人権』（京都府 府民環境部人権啓発推進室、2021 年）</p>
	<p>・スライド 10</p> 	<p>○LGBT 等の性的少数者は約 10 人に 1 人いると言われています。ですが、LGBT 等の性的少数者が周りにいると答えた人は日本では5%以下だというデータもあります。</p> <p>これは社会でのステレオタイプ(思い込み)やジェンダーバイアスに基づく情報や発言を見聞きすることで、当事者が声を発しづらくなっていたり、周囲にいてもなかなか認知されないことにつながっていることが関連していると考えられます。</p> <p>これらのデータから、どうしてこのような状況が生じているのか、個人ワークやグループワークを通して議論、考えてみるのも良いでしょう。</p>
	<p>・スライド 11</p> 	<p>○性について悩んでいる人の中には、周囲に相談ができず、孤独に陥っている人もいるかもしれません。そうした当事者の悩みに寄り添い、相談に乗ってくれる相談機関が周囲にもあることを伝えます。</p> <p>○性の多様性についてもっと知りたい生徒のために、京都府の作成するパンフレットを紹介しましょう。</p> <p>多様な性のあり方を知ること、多様な性を尊重する社会のあり方について考えるヒントが詰まっています。</p> <p>【参考】</p> <p>京都府『性の多様性と人権』（京都府 府民環境部人権啓発推進室、2021 年</p> <p>https://kyoto-jinken.net/material-book/4872-2/</p>

	<p>・スライド 12</p> 	
ま と め	<p>7. 本時の振り返り</p> <p>・スライド 13</p> 	<p>○身の周りに潜むジェンダーバイアスについて考えることを通して、そのような認識は社会や文化によって形作られていること、性自認、性的指向、からだの性などの様々な側面から多様な性のあり方を捉えられることを学習しました。</p> <p>性のあり方は一人ひとり異なり、互いの性を尊重することは、ジェンダー平等と同様に重要な視点です。</p> <p>その視点を踏まえて、「あらゆる性の人が生きやすい社会」の実現のために、いま一人ひとりができることについて、日ごろから考え、実践していくことの大切さを伝えましょう。</p> <p>○また、ジェンダーバイアスに自覚的になると、意図しない形で相手を傷つけることを防げます。</p> <p>自他の生き方を尊重できるように自分の言動を振り返りましょう。</p>

【資料編】

授業の展開	指導上の留意点
<p>・スライド15</p>  <p>・スライド16</p> 	<p>○男女の平等について考える素材として、「ジェンダーギャップ指数」について触れるスライドです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーギャップ…男女間の格差のこと ・ジェンダーギャップ指数…経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出される、男女格差を示す指標で、毎年、「世界経済フォーラム」(WEF)から「ジェンダーギャップ指数」が発表されています。 <p>この指数は、男性に対する女性の割合(女性の数値/男性の数値)を示しており、0 が完全不平等、1 が完全平等をあらわしています。</p> <p>○2024年現在、日本のジェンダーギャップ指数は146か国中118位です。主要先進国(フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ)の中では最下位の結果となっています。</p> <p>分野別にみると「政治」では女性議員が少なく、閣僚の比率も低いこと、また「経済」では女性管理職の割合が低いこと、男女間の賃金格差がスコアに影響しています。</p> <p>○ジェンダーギャップ指数改善に向けて、どのような取組を行うとジェンダーギャップ指数野スコアが改善できるか、個人ワークやグループワークを行っても良いでしょう。</p> <p>取組例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職の登用 ・女性のキャリアアップ支援を実施するために、男女問わず働き方を見直す(育休の推進、ワークライフバランスの推進など) ・家庭内での家事育児の分担を考える
	<p>○「ジェンダー」と「セックス」はどちらも「性差」をあらわしますが、意味には違いがあり、使い分けが重要であることを伝えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー: 社会文化的な性差(社会や文化の中で形作られる) ・セックス: 生物学的性差(遺伝子や身体的特徴をもとにして判断)

・スライド 17



○スライド 17 を踏まえて、スライド18では「ジェンダー」と「セックス」の意味の違いを考えます。

【考えてみよう】ジェンダーとセックスの違い

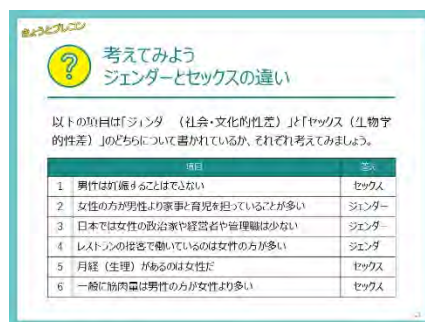
以下の項目は「ジェンダー（社会・文化的性差）」と「セックス（生物学的性差）」のどちらについて書かれているか、それぞれ考えてみましょう。

- 1 男性は妊娠することはできない
- 2 女性の方が男性より家事と育児を担っていることが多い
- 3 日本では女性の政治家や経営者や管理職は少ない
- 4 レストランの接客で働いているのは女性の方が多い
- 5 月経（生理）があるのは女性だ
- 6 一般に筋肉量は男性の方が女性より多い

○スライド 18 の表の「解答」欄を隠しながら、各項目が「ジェンダー」と「セックス」どちらを指す事例か考えてみましょう。

このワークを通して、「セックス」は生殖機能などの身体的な事柄に基づくものが多く簡単には変えられないもの、「ジェンダー」は必ずしも「セックス」には基づかず、文化が違えば変わるものであることを確認します。

・スライド18



・スライド19



○近年では LGBT に限らない性的少数者の認知度も増えてきています。そこで「LGBT」に「Q+」を加えて「LGBTQ+」と表記することもあります。性の多様性の話をする際に、一緒に学習するのも良いでしょう。

○性的マイノリティをあらわす「LGBTQ+」に対し、「SOGI」とは多数派も含めたすべての人間のセクシュアリティ（性のあり方）をより広くあらわす言葉として使われています。LGBTQ+と一緒に確認するとより理解が深まります。

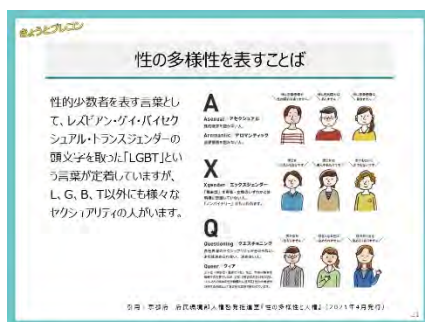
セクシュアリティは性的マイノリティだけの問題ではなく、社会全体で考えていくことが必要であることを確認しましょう。

・スライド20



○性の多様性について扱う際は、生徒の中にLGBT等の性的少数者の当事者がいることを念頭に置き、発問等に留意しましょう。

・スライド 21



2. スライドに掲載される主な参考資料

*スライド掲載順に記載。教員用プログラムのみに記載されている項目は(教プロ)と記載。

・スライド 10

「LGBT+プライドレポート 2024」 26 カ国を対象としたイプソスグローバルアドバイザー調査」

国別:LGBT+の認知度(lpsos、2024年6月)

<https://www.ipsos.com/ja-jp/ipsos-pride-survey-2024-gen-zers-most-likely-identify-lgbt>

・スライド 11

京都人権ナビ「人権に関する相談」(京都府人権啓発推進室)

<https://kyoto-jinken.net/service/>

・スライド9(教プロ)・12・19・20・21

『性の多様性と人権』(京都府府民環境部人権啓発推進室、2021年4月)

<https://kyoto-jinken.net/wp-kyoto-jinken/wp-content/uploads/2021/05/ce41e19b999721dc0398952c76bdab41.pdf>

・スライド 15・16

「ジェンダーギャップ・レポート 2024」(世界経済フォーラム、2024年11月)

<https://jp.weforum.org/publications/global-gender-gap-report-2024/>